十八史略（鶏口牛後）　＊

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

秦人恐ニ(ヲ)レ喝(シテ)諸侯(ヲ)ニ求(ム)レ割(カンコトヲ)地(ヲ)。有(リ)ニ洛陽人蘇秦(ナルモノ)ニ一①遊ニ(ニ)レ説(シテ)秦(ノ)恵王(ニ)ニ一②不レ用(ヒ)。乃ち[b]往キ説(キ)ニ燕(ノ)文侯(ニ)ニ一、[c]与レ趙③従親(ヲ)。燕資(シ)レ之(ヲ)ニ一④(ニ)、以テ至ラシム(ラシム)レ趙(ニ)。

問一　二重傍線部**a**～**c**の漢字の読みを、現代仮名遣いで答えなさい。ただし、**a**・**b**は送り仮名が必要な場合、送り仮名は片仮名で答えなさい。

問二　傍線部①について、次の問いに答えなさい。

1　漢字の読みを答えなさい。

2　漢字の意味として適当なものを、次の**ア**～**エ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア　諸国に遊びに行くこと。　**イ**　自分の正当性を説得しに回ること。
ウ　他国の意見を聞きまわること。　**エ**　他国と意見を議論すること。

問三　傍線部②の書き下し文として適当なものを、次の**ア**～**エ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア　用いず　**イ**　用いられず　**ウ**　用されず　**エ**　用ゐられず

問四　傍線部③を「同盟を結ばせようとした」と現代語訳する場合、訓読として適当なものを、次の**ア**～**エ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア　従親せらる　**イ**　従親させしむ　**ウ**　従親せしむ　**エ**　従親させらる

問五　傍線部④「之」が指しているものとして適当なものを、次の**ア**～**エ**の中から選び、記号で答えなさい。

ア　恵王　**イ**　文侯　**ウ**　蘇秦　**エ**　秦人

問一	問二	問三
a	1	
		問四
		問五
b	2	
c		

学年
組
番号
氏名
得点

十八史略（鶏口牛後）　＊

〔出題の意図と留意点〕　漢字の読みや言葉の意味、訓点の問題など基本的な知識を問う出題なので、生徒にとっては取り組みやすいであろう。

☆解答例と配点

問一　**a**　すなわチ　**b**　ゆキテ　**c**　と　〈４点×３〉
問二　１　ゆうぜい　２　**イ**　〈４点×２〉
問三　**エ**　〈10点〉
問四　**ウ**　〈10点〉
問五　**ウ**　〈10点〉
計50点

十八史略（鶏口牛後）　＊＊

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

秦人恐ニ喝シテ諸侯ヲ一、求レ割レ地。有ニ洛陽ノ人蘇秦ト一云ルモノ遊ニ説シテ秦ノ恵王ニ一、不レ用。乃チ往キテ説ニ燕ノ文侯ニ一、①与レ趙従親。燕資レ之ニ、以テ②至レ趙。説ニ粛侯ニ一、③曰ハク、「諸侯之卒、十ニ倍ス於秦ニ一。幷レ力ヲ西ニ向、秦必ズ破レン矣。為ニ④大王ノ一計ルニ、莫若六国従親、以テ擯シムル秦ニ。」粛侯乃チ資レ之ニ、以テ約セシム諸侯ニ一。蘇秦以テ⑥鄙諺ヲ一説キテ諸侯ニ一曰ハク、「寧ろ為ニ鶏ノ口ト一、無レ為ニ牛後ト一。」於レ是六国従合ス。⑦

問一　二重傍線部ａ・ｂの漢字の読みを、現代仮名遣いで答えなさい。ただし、送り仮名が必要な場合、送り仮名は片仮名で答えなさい。

問二　傍線部①「与」と同じ働きをするものを、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。ただし、選択肢の「与」の部分の送り仮名は省略されている。

ア　子行ニ三軍ヲ一、則チ誰ト与
イ　酌レ酒ヲ与ニ先生ニ一
ウ　梁与レ籍倶ニ観ル＊「梁」「籍」＝共に人名。
エ　子非ニ三閭大夫ニ一与。

問三　傍線部②の書き下し文として適当なものを、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア　趙に至る。　イ　趙を至らしむ。　ウ　趙で至る。　エ　趙に至らしむ。

問四　傍線部③「曰」とあるが、誰が言ったのか、本文中から抜き出しなさい。

問五　傍線部④「大王」とは誰を指すか、本文中から抜き出しなさい。

問六　傍線部⑤の漢文の読み方として適当なものを、次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

ア　莫レ若ニ六国一従レ親シテ以テ擯シルク秦ヲ。
イ　莫シトレ若ニ六国一従レ親シテ以テ擯シルクルニヲ秦ヲ。
ウ　莫レ若ク六国ハ従レ親シ以テ擯シルク秦ヲ。
エ　莫下若ニ六国一従レ親シテ以テ擯シルクコトヲ秦ヲ。

問七　傍線部⑥「鄙諺」とは本文ではどのようなことをいうのか、漢字四字で答えなさい。

問八　傍線部⑦「従合」と同じ意味で使われている語句を、本文中から二字で抜き出しなさい。

学年		問一		問五	
組		a			
番号		b		問六	
氏名		問二		問七	
得点		問三		問八	
		問四			

十八史略（鶏口牛後）　＊＊

〔出題の意図と留意点〕　漢字の読みや言葉の意味、語の用法、訓点の問題など基本的な知識を問う出題を中心にしつつ、主題に関する設問を問七・八に置いた。

☆解答例と配点

問一　a　むしロ　　b　ここニおイテ　〈3点×2〉
問二　**ウ**　〈4点〉
問三　**エ**　〈5点〉
問四　蘇秦　〈5点〉
問五　粛侯　〈5点〉
問六　**イ**　〈5点〉
問七　鶏口牛後　〈10点〉
問八　従親　〈10点〉
計50点

十八史略（鶏口牛後）　＊＊＊

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。［50点］

秦人恐ニ喝シテ諸侯ヲシテ求レ割カンコトヲ i 地。有ニ洛陽ノ人蘇秦ナルモノ一往キテ説ニ燕ノ文侯ニ一、与レ趙従セムニ親。燕資レ之ニ、以テ［Ⅱ］至レ趙ニ。説キテ粛侯ニ一曰ハク、「諸侯之卒、十ニシテ倍ス於秦ニ一。幷セテ力ヲ西ニ向カハバ、秦必ズ破レン矣。為ニ大王ノ一計ルニ、莫若六国従親、以テ擯秦ヲ。」粛侯乃チ資レ之ニ、以テ約セムニ諸侯ニ一。蘇秦以テ鄙諺ヲ説キテ諸侯ニ一曰ハク、「寧ロ為ルトモニ鶏口ト一無レ為カレトルコト牛後トモ。」於レ是ニ六国従ス合。

問一　二重傍線部ａ・ｂの漢字の読みを、現代仮名遣いで答えなさい。

問二　［　　］Ⅰ・Ⅱに入る適切な送り仮名を歴史的仮名遣い（片仮名）で答えなさい。

問三　波線部ⅰ・ⅱの意味を表す二字の熟語を答えなさい。

問四　傍線部①～③の意味を、それぞれ十五字以内で答えなさい。

問五　傍線部④とはどこの国を指すか、漢字一字で答えなさい。

問六　傍線部⑤について、次の問いに答えなさい。

１　現代仮名遣いを用いて、全て平仮名で書き下し文にしなさい。

２　現代語訳しなさい。

問七　傍線部⑥について、次の問いに答えなさい。

１　現代語訳しなさい。

２　「鶏口」・「牛後」は何に例えられているか、それぞれを五字以内で答えなさい。

３　ここで蘇秦は、諸侯たち（秦は除く）の心を巧みに利用して「従親」の説得に成功している。諸侯たちのどのような心を利用したか、その心を二つ、それぞれ三字以内で答えなさい。

４　「鶏口牛後」という言葉は現在どのような意味で用いられているか、四十字以内で答えなさい。

問七				問六		問五	問四			問三	問二	問一
4		3	2	1	2	1		③	②	①	i	Ⅰ	a
			鶏口										
											ii	Ⅱ	b
			牛後										

学年
組
番号
氏名
得点

十八史略（鶏口牛後）　＊＊＊

〔出題の意図と留意点〕　基本的な読みや言葉の意味、文脈を理解するための正確な現代語訳は大事と考え問うた。説得の巧みさについての内容理解や、それを成功させた成語の意味についての設問は、この試験問題の中心となろう。

☆解答例と配点

問一　a　きょうかつ　b　ひげん　〈１点×２〉

問二　Ⅰ　ヰラレ　Ⅱ　ラシム　〈１点×２〉

問三　ⅰ　領土（国土・領地）　ⅱ　登用（採用）　〈２点×２〉

問四　①　自説を説得して回ること。（十二字）　②　南北に同盟を結ぶこと。（十一字）
③　遊説の資金を与えること。（十二字）　〈３点×３〉

問五　秦　〈２点〉

問六　１　りくこくしょうしんして、もってしんをしりぞくるにしくはなし。　〈４点〉
２　六国が南北同盟を結んで、（強い）秦をのけ者にするのにまさるものはない（と思われます）。　〈５点〉

問七　１　どちらかと言えば鶏のくちばしになっても、牛の尻になってはなりません。　〈５点〉
２　鶏口＝小国の君主　牛後＝大国の臣下　〈４点〉
３　自尊心、独立心（名誉心）　〈４点〉
４　たとえ小さな組織であってもその頭になるほうが、大きな組織の末端にいるよりもよい。（四十字）
〈９点〉

計50点